

## 8.20 広島八木災害報告（第 98 報）

2017.7.6

梅雨の時期になりました。今年は“から梅雨”と思われていましたが、最近非常に多くの雨が降ります。8.20 災害の現場では、また、3 年前の災害の再発かと心配しています。

6 月 29 日から 30 日にかけて、大変な雨が降りました。6 月 30 日夜は、避難勧告のサイレンが何度もなり、アナウンスもされました。自宅の山上の建築していただいた砂防ダムには、クレーン車が 2 台きて、何かダムの修理をしていました。お陰で、大きな災害はなく済みました。

7 月 5 日、大分県、福岡県での豪雨災害は被災者も多く、現地の苦しみはいかばかりかと、お悔やみ申し上げます。

当八木三丁目では、先週の豪雨のあと、また瞬間的な大雨が降り、地盤が緩んでいるためか、清掃した水路に山の真砂土がたまって、水路からあふれている状態でした。被災後約 3 年経っていますが、いまだ、当時の災害の怖さがぬぐい切れません。

昨年の秋から、被災地の子供たちの“心の痛みの調査”を広島市教育委員会と共同で行っています。8 月 20 日までには何とか結論を出したいのですが、子ども達の心にも深刻な影響があると思われます。

2017.7.6.11 時

桑原医院 桑原正彦